

国土交通経済（平成 15 年 5 月・6 月分）の概況

【公共工事受注（6月）】

～総じて低調に推移。

公共機関からの受注工事額（1件 500万円以上の工事）は、平成 14 年 7-9 月期は対前年同期比 4.6%減少、10-12 月期同 1.6%減少、平成 15 年 1-3 月期同 16.1%減少の後、平成 15 年 4-6 月期同 13.1%減少となった。

【住宅建設（6月）】

～このところ増加している。

新設住宅着工戸数は、総計 115,081 戸で前年同月比 13.4%増加（先月の減少から再び増加）。

季節調整済み年率換算値の推移をみると、平成 14 年 7-9 月期 1,136 千戸、10-12 月期 1,125 千戸、平成 15 年 1-3 月期 1,145 千戸、4-6 月期 1,201 千戸となった。

【民間非住宅建設（6月）】

～持ち直し基調で推移。

民間非居住用建築物着工床面積は、平成 14 年 7-9 月期は対前年同期比 11.4%減少、10-12 月期同 3.6%減少、平成 15 年 1-3 月期同 3.0%増加の後、4-6 月期同 0.8%増加となった。

【貨物交通（5月・6月）】

（1）国内輸送

～トラックはほぼ横直し、鉄道及び航空は減少。

トラック（特積）は、5 月前年同月比 0.5%減少（4 ヶ月連続）となったが、トラック（一般）は、4 月同 1.7%減少の後、5 月同 0.7%増加に転じた。宅配は、5 月同 4.8%増加（2 ヶ月連続）となった。

鉄道は、6 月同 4.4%減少（3 ヶ月連続）となった。

航空（速報：3 社）は、6 月同 3.5%減少（4 ヶ月連続）となった。

（2）国際輸送

～航空は、輸出が 1 年 3 ヶ月ぶりに減少となったが、輸入は増加。

外国航空会社を含む航空貨物量（速報：成田・関空調べ）は、輸出が 6 月前年同月比 1.8%減少（15 ヶ月ぶり）となったが、輸入は 5 月同 0.9%減少の後、6 月同 3.1%増加に転じた。

我が国航空会社の輸送量（速報 5 社：輸出＋輸入）は、6 月同 3.9%減少（16 ヶ月ぶり）となった。

【旅客交通（5月・6月）】

～鉄道は J R がほぼ横直しとなり、民鉄は微増傾向が続いている。国際航空は SARS の影響で大幅減となったが、国内航空は増加。

鉄道は、J R 6 社が 5 月前年同月比 0.2%減少（8 ヶ月連続）となった。民鉄は、5 月同 0.7%増加（2 ヶ月連続）となった。

国際航空（邦社）は、SARS の影響により、6 月同 42.1%減少（4 ヶ月連続）となった。

一方、国内航空（速報：9 社）は、6 月同 3.0%増加（3 ヶ月ぶり）となった。

【観光（6月）】

～国内旅行取扱額は 1 年 4 ヶ月ぶりに増加となったが、海外旅行取扱額は大幅減。

国内旅行取扱額（主要 50 社）は、6 月前年同月比 5.0%増加（16 ヶ月ぶり）となった。

海外旅行取扱額（主要 50 社）は、SARS の影響により、6 月同 51.7%減少となった。

なお、入国外客数は、SARS の影響もあり、6 月同 24.7%減少（3 ヶ月連続）となった。